

躑の要項に就て

四〇

倉 橋 惣 三

編輯部からのお尋ねに對して、お忙しいところ、いろいろご御意見を送つて下さつた方々に深くお禮申し上げます。たゞ、この他、もつと澤山の方からの御回答を期待してゐましたのに……その點は残念です。將來も、誌上研究會のおつもりで、研究しおひませう。

さて、御意見のいろいろを拜見して、一々御同感のこともみです。躑の必要はいふまでもないとして、その範圍も極く廣いものですから、要項なるを、されさきめることが困難な譯です。また、極く實際としては、幼兒の一人一人に就て、ねらひ處も異つて來ませう。

御回答の中に多くある「皇國民としての躑」さといふことが、言葉は異つてゐるまでも大切な主要項であることは、申すまでもありません。が、それは多少綜合的ないひ方であり、謂はゞ、教育全體の目的であるのですから、その目的の爲に、さういふ點々の躑が必要かといふ分析が研究上必要なのでありますまいか。分析さいふよりは、その一つ一つの點こそが、躑の實際の要點になりませう。躑は、さういふまでも實際のことであり、子さの生活々動に對してのことであります。

それに就て、いろいろの研究の方法もありますが、先づ一番手近かな手がよりとして、國民學校の教科書のヨイコトモを精讀してみることも有益でせう。勿論、幼稚園としてあのまゝさいふことではない點もあるかも知れませんが、一應のねらひを、あすこに置いて見て考究するのも、一つの途だと思はれます。

ところで、茲に一つ申上げて置きたいことがあります。それは躑の要項を普遍的に立てることゝ、個々の幼稚園で考へることゝの關係です。個々の幼稚園さいつても、勝手のことの許されぬのは勿論です。又、普遍的價値のあるものでなければならぬことも勿論です。しかし、その普遍の中で、それゝ幼稚園としての氣の入れ方が各自のものであるところに、躑に生命のはいる所以でもありません。普遍はいつも普遍ですが、幼稚園には、それゝの現實の條件が、環境的にも、園の傾向さしても、子さの家庭さしても、また、先生の組立てさしても、いろいろさ意を配らなければならぬことが起るからです。だからこそ、さういふお尋ねを幼稚園でした譯でもあります。